

## 令和元年度 第1回まちづくり会議概要 吉野谷地区

日 時：令和元年5月25日（土） 10：00～11：20

場 所：吉野谷公民館

参加団体等：吉野谷区長会、(株)白山瀬波、体育協会吉野谷支部、吉野谷青年団、吉野谷女性の会、吉野谷子ども会育成委員会、吉野谷老人クラブ連合会、吉野谷ボランティア、吉野谷公民館長、白山市町会連合会理事など

### 発言【1】

旧吉野谷庁舎の白山ろく全体としての利活用について

災害時の避難場所や、各種団体の事務局や民間事業者に通年での利用について

#### 【市】

旧吉野谷庁舎は、白山ろくの5つの庁舎の中で唯一耐震化がされています。隣接の急傾斜地の対策工事が今年で完了する予定でしたが、来年に順延するかもしれません。対策工事が完了すれば使用可能となります。

行政だけでなく、産学連携も踏まえ、利用価値をもっと考えていく必要があります。

### 発言【2】

①旧フクスケ工場の跡地に多目的施設の整備について

②白山ろく産業土木課の移転、移転後の利用について

③空き店舗となっている工芸の里内のレストランの営業再開について

#### 【市】

①平成22年度から整備を進めてきた「河合・下野テーマパーク」の一部が完成し、6月1日より供用が開始されました。工芸の里の整備につきましては、広場、東屋、トイレなどの整備が考えられますが、県との協議が必要となります。開始時期につきましては、河合・下野テーマパークの整備方針・内容についての県との協議も必要で、今後の進捗状況によります。

②白山ろく産業土木課の移転につきましては、組織機構の見直しとともに、今後調整を図りたいと考えています。

③工芸の里内のレストランにつきましては、工芸の里の事業を行う白山吉野地域振興協議会がレストラン運営候補者との接触並びに効果的活用方法について模索しています。市としても協議会と連携し、白山ろく産業土木課の移転後の2階の活用も含め持続可能な管理運営方法を検討します。

### 発言【3】

大きな檻でのサルの捕獲について

#### 【市】

サル用大型囲いわな等は、「設置場所」や「維持管理」、「群れが分散する可能性がある」などの問題があることから、設置は難しいと考えています。

野生鳥獣の出没を抑制するには、過密化した里山林の見通しを良くすることが効果的です。市では昨年より、集落周辺の里山林において藪の刈払いなどを行う「緩衝体整備」を実施し、野生動物と人間の境を作っています。

石川県猟友会では、ドローンのカメラで上空からイノシシの群れを追跡し、生息状況を調査することで、通り道に箱わなを設置して確実な捕獲につなげる実証実験に取り組んでいます。

また、昨年度より開始したモンキードック事業につきましては、受け入れ集落を募集していますのでご協力をお願いいたします。

### 発言【4】

①スペシャルアドバイザーの育成について

②消防団吉野谷分団員の募集のお願いについて

#### 【市】

①地域を一番知るのは地域の人。地域の問題を皆で考えていこうというのが、協働のまちづくりです。各種団体が集まり、地域の課題を皆で考えていけば、問題解決につながっていくのではないかと考えています。「市民協働で創るまちづくり」の理解を深め、地域をけん引していくリーダーや専門知識を持つスタッフ育成のため、「まちづくり塾」など定期的に人材育成研修を開催していきたいと考えています。

また、地域の課題について協議する「新たな地域コミュニティ組織」の創設についても検討していきます。

②消防団員の募集につきましては、地域にいる人、市内の企業の方が消防団に入ってくれたらありがたいです。そうした企業に対し市ができることは、市の公共工事発注の際に点数を加算することや、消防団員を優遇してもらう商店を増やすことです。

また、退団した消防団員を機能別消防団として、何かあった時に声をかけられる体制づくりを進めていきたいと考えています。

こうした地域の課題を「まちづくり塾」に参加して取り組んでほしいと思っています。

## 発言【5】

運転免許証返納の課題としてのコミュニティバスの充実について

### 【市】

現在、吉野谷地域から鶴来地域まで行ける路線バス、コミュニティバスが運行されていますので、皆さんにご利用いただけるよう周知してまいりたいと考えています。

### 【路線バス（往）】

白峰 6:14 発－吉野工芸の里 6:50－鶴来駅 7:13 着 鶴来駅 10:18 発－吉野工芸の里 10:36－白峰 11:13 着  
白峰 6:32 発－吉野工芸の里 7:09－鶴来駅 7:33 着 鶴来駅 13:25 発－吉野工芸の里 13:47－白峰 14:30 着  
白峰 9:37 発－吉野工芸の里10:13－鶴来駅10:45 着 鶴来駅 16:35 発－吉野工芸の里 16:59－白峰 17:45 着  
白峰14:47 発－吉野工芸の里15:23－鶴来駅15:55 着 鶴来駅 17:50 発－吉野工芸の里 18:12－瀬女 18:30 着  
鶴来駅 18:33 発－吉野工芸の里 18:53－白峰 19:25 着

### 【路線バス（復）】

### 【コミュニティバス（往）】

佐良 8:34 発－釜清水 8:53(乗換)－鶴来駅 9:20 着 鶴来駅 12:45 発－釜清水 13:12(乗換)－瀬波 13:32 着

### 【コミュニティバス（復）】

なお、コミュニティバスのダイヤは過密状態で、運行事業者からも運転手の確保が困難と申し出があり、ルートの変更や延伸は困難となっていますので、ご理解をお願いします。

また、新たな地域コミュニティ組織や地域予算制度を導入する際や市民提案型まちづくり支援事業の活用策の一つの案として、吉野谷地域で車を1台持ち、地域で情報を把握し、必要な時に必要な形で使えるよう、地域の人たちに車を管理してもらおうといった方法を考えてみてもいいのではないかと思います。交通手段がなく困っている人をどうするのか、皆で知恵を出し合ってほしいと思います。

免許証の返納問題では、加害者にならないことが一番大事です。70歳以上の方は、免許更新時に事前に高齢者講習を受けなければならないことになっていますので、その時点で返納するかどうか、ご家族とともに考えていただきたいと思います。

白山市は、返納者に対する支援が県内で一番充実しています（2万円分）。コミュニティバスも、75歳以上の方を無料化にしてから約1年が経過したところです。自主返納をした方たちにコミュニティバスを大いに利用してもらえるよう、今後、費用対効果も考慮しながら、対象年齢の拡大について検討していきたいと考えています。

## 発言【6】

- ①森林と触れ合い緑を大切にす意味を理解してもらうための取り組みについて
- ②上下水道施設・ゴミ処理施設が完備されている白山市のアピールについて

### 【市】

①平成31年度から国による新たな森林経営管理制度が始まりました。本市の森林整備実施に向けて、今後、森林環境税を利用した森林保全、植林活動を実施してまいります。

活動の一つとして、自然の大切さをもっともっと感じてもらえるように、間伐や枝打ち体験などを学校教育にも取り入れてもらえれば良いと思います。

学校に関しては、教育委員会との話し合いが必要ですので、総合教育会議で提案していきたいと思います。

また、いしかわ森林環境基金事業のひとつである枝打ち体験、間伐現場見学などができる「いしかわ森林環境実感ツアー」が毎年開催されているほか、園児や親子を対象とした「こども森の恵推進事業」も毎年実施されていますので積極的に活用していただけるよう周知していきたいと思います。

②白山市の下水道普及率は99.2%と県内でも高い普及率であり、ほぼ市内全域が下水道整備済区域となっています。

市内の海岸に漂着するごみの多くは、海外等から漂着したプラスチック類や、大雨等により県内外の河川から流れ出た流木です。

市では毎年6月の第4日曜日に、市内全域の海岸において、市内の各種団体、企業や市民の皆様のご協力をいただき海岸美化清掃を実施しています。

また、クリーン・ビーチいしかわ実行委員会の主催により、毎年5月の最終日曜日に「クリーン・ビーチいしかわ in はくさん」が実施され、徳光海岸の清掃が行われています。

このほか、ボランティアとして、北星中学校の生徒や（社）白山・石川建設業協会などの団体が海岸清掃を行っています。

今後とも「安全で快適な生活環境の提供」「環境美化の保全」に努めるとともに、その活動の支援や周知を行ってまいります。

## 発言【7】

在所の人口の急減について

### 【市】

白山市では、松任と鶴来の人口は増えています。美川は現状維持、白山ろくは減つ

ています。働き場所の問題や交通の問題が白山ろくの人口減につながっていると思われる。

小さい在soでの対応案として、体育祭や祭りのような地域全体で開催する行事では在soを出て行った人が戻ってくる場合があります。このように、出た人が戻ってくる誘い水になるように、今あるものをどう生かしていくか、コミュニティをどうしたら良くなっていくのかということをもみんなで考えることが大事だと思います。地域コミュニティづくりには、地域の実情に応じた創意工夫が必要であり、そのための情報提供を行ってまいりたいと考えています。また、「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「新たな地域コミュニティ組織」の創設も検討してまいります。

県外からの移住を促進するために、今年度から短期移住宿泊体験補助制度を創設しました。空き家セミナー、無料相談会等においては、引き続き空き家所有者に空き家バンクへの登録を進め、移住希望者への情報提供を行ってまいります。